



子ども達の

食生活の変化

最近、町中ですれ違う子どもたちの体つきを見て、以前と比べると非常に変わってきたなと感じられている方が多いのではないのでしょうか。テレビを見ていてもそんな感じがしますよね。中学生かと思ったら、話を聞いてみるとみたら、小学生だったとか。高校生かと思ったら、実は、中学生だったとか。



これは、食生活の変化に大きな要因があると思います。以前とは比べものにならないくらい、食生活は豊かになりました。スーパーマーケットに行けば、だいたいどんな食品も置いてあります。コンビニなどに行けば、夜遅くになっても空腹を満たすには十分以上の食料を買い求めることができます。また、それらを簡単に買うことができます。現代の日本の家庭では、食べるのに困っていない

るところはほとんどないと思います。それだけ、国全体が豊かになり、ゆとりを持つことができるようになったということが言えるでしょう。

運動能力の低下

しかし、この体の成長に伴うくらしい運動能力が子どもたちの中に育っていないのでしょうか。また、子どもたちの心の成長は、体の成長に追いついていないのでしょうか。答えは、「ノー」です。

例えば、運動能力の面を見てみましょう。最近の子どもたちの中には、顔面に小さな虫が迫ってきたときに、目を閉じることができない子がいるそうです。そして、目の中に虫が入ってしまうのだそうです。また、転んだときにとっさに手を出すことができずに、顔を打ってしまったり、すりむいてしまった子が多いそうです。この二つの例だけをとりても、子どもたちの運動能力に問題ができてしまっているということが言えると思います。

アンバランスな体と心

次に心の面を見てみましょう。最近、よく新聞や雑誌などで援助交際の記事を目にすることがあり

ます。

本人たちのコメントを見てみると、「別に誰にも迷惑をかけていないんだからいいじゃないか」ということが書かれていることがありました。確かに誰かに迷惑をかけている訳ではないと思いますが、それでいいのでしょうか。

このように子どもたちの体の成長と能力や心の成長がアンバランスになってしまっている例はたくさんあります。なぜこのようなアンバランスが起きているのでしょうか。最大の原因の一つに、子どもたちの経験不足があげられます。

以前は、野山を駆け回ったり、転がり回ったりする時間や場所がありました。そのような中で、色々な能力を身につけることができていました。しかし、最近は、塾に通ったり、習い事をしたりで、なかなかそのような時間がありません。また、そのような事をする場所も交通事情などでなくなってしまうかもしれません。以前は先輩の話を聞いたり、両親の話を聞いたりして、色々な情報を得ることができていた、正しい方向に導いてくれる

情報がたくさんちりばめられていました。

現在では、両親も語ることができないような状態になってしまっている家庭が多いと聞いています。これでは子どもたちの心もなかなか育ってはいきません。

真理を求めて

ギリシャ時代の哲学者、プラトンの言葉にこんな言葉があります。「真理は一つだけである。真理は必ず存在するものである。しかし、それは追い求めていくものである」この言葉の中に、アンバランスを解決していくポイントがあると思います。確かに、多様化した価値観に対応をしなくてはならないと思いますが、その中に必ず真理はあるはずだと思います。各家庭で自信を持って、その真理だと感じていることを子どもたちに語りかけ、望ましい体験をさせていくこと。それが大きな問題を解決していくことになっていくと感じています。心技体のバランスがとれたとき、子どもたちは大きく羽ばたいていくことだと思います。限らない可能性を秘めた子どもたちです。

身技体